

防災訓練等指導業務報告書

リーダー	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	事務局長	事務局

研修団体名	新居浜医療福祉生活協同組合			住所	新居浜市萩生1061	電話	47-5890
研修日時	令和5年5月11日	月曜日	13時30分～16時30分	研修対象者	事業所職員	研修人数	30人
研修場所	新居浜医療福祉生活協同組合 中萩事業所			研修目的	防災BCP作成の教育一環として（メゾが湧きやすいので）		
講師	馬越 健	ファシリテータ	近藤雅義	オブザーバー	菅春樹、川端悟、衣川祐二		

事前打合せ

日時	令和5年5月8日	曜日	日曜日	13時30分～15時30分	場所	新居浜医療生活協同組合 会議室
参加者 研修者	HUG担当者 2名			参加者 ネットワーク	馬越リーダー、岡部事務局次長	

訓練等指導報告

- ・ HUG研修の感想
- ・ ゲームを通して、自分が災害対策本部となりそれぞれに指示を出す側となり色々な問題を抱えた人、プライバシーの配慮が必要な方、要介護者等をどう振り分けていくかに最初追い込まれましたが、対策本部の中にも避難所設備係、誘導係、情報部門、物資担当、救護係、メディア対応、相談窓口などそれぞれ役割分担を最初に決める。避難所の振り分けをどうするかを最初から想定しておくなど現場においても、災害対策の体制表の整備がまず必要だと感じた。
- ・ 実際の災害時には、避難して来た人の情報を得ることから始まると思うので、大変だと感じた。避難所内で、ボランティアなど協力体制を得るためにも、医療従事者（医師・看護師など）介護職、手話ができる人、通訳ができる人など掲示板等で告知して協力を得ることも大事だと感じました。
- ・ 避難所運営ゲーム（HUG）を通して、ゲームでこれだけ混乱するのなら、実際の現場はパニックになってしまうと感じました。スピード力と判断力そして、1番に日頃からゲームを通して訓練しておくことの大切さを知りました。
- ・ トイレ、動物、医療、介護、の必要な方、小さい子ども、妊婦など、どこの場所を割り当てするがとても苦労しました。その間にも物資が届いたり、情報を整理に整理することが大変でした。
- ・ 日頃からの訓練にもっと積極的に参加、また事業所内の訓練や備品、設備などもっと強化していきたいです。今後、防災士の講習も受けたいと思います。地域で防災士が増えていくと良いと思います。事業所で避難訓練はしていますが、建物から逃げるということしか正直できません、本当に避難しないといけなくなった時に利用者さんを安全な場所に早く避難できるかなど、実際に想定しながらの訓練が必要だと今回の訓練を通じて感じました。
- ・ HUGを行ってみて、想像をはるかに超えた大変さと混乱が体験できました。ゲームであるにも関わらず、押しよせる避難者と情報に慌ててしまい、終了時には疲れ果ててしまいました。今回のグループメンバーは顔見知りではあったものの、あまり話したことのない方もおられました。しかし、ゲームの中で話をしたり意見交換を行う中で、団結出来ていたのではないかと思います。
- ・ 今回のHUGをさせてもらったことで、災害が起こった時のリアルな体験をさせてもらえたと思います。今後多くの方が体験することでイメージトレーニングができ、自然災害が起きた時に少しでも混乱することが少なくなるのではないかと思います。
- ・ リーダーという立場になってシュミレーション（判断や指示等）を試みることで、知識や経験の必要性を痛感しました。今後一層の防災意識を持って、日常生活や業務に活かしていきたいと感じました。
- ・ 防災マニュアルにて避難するときの必要な物（薬、薬情報など）、動物の避難方法、細かい情報がのっていると思うので、勉強をしていきたい。

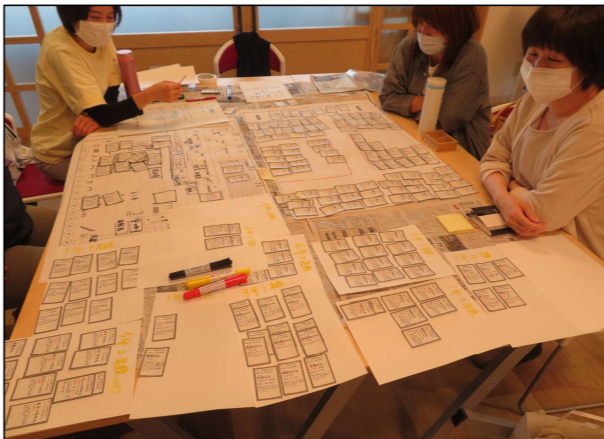
グループの意見・感想

- ・ 色々な事情で次々と避難者来ることで受け入れをする側の難しさを痛感した。 ・ 掲示板の重要性がよく分かった。（問題の可視化）
- ・ トイレの確保、重要性が分かった。 ・ 水（飲料水、生活水）確保の難しさが分かった。 ・ 通路の確保の必要性
- ・ 物資は、1カ所にまとめから場所を決める。 ・ 手伝ってくれる方々のありがたさを知る。 ・ 地区分けはある程度行う方が良い。
- ・ 道具は落ち着くまでは使用しない。 ・ 医療の必要な方は、情報が欲しい（お薬手帳など） ・ 動物は、ゲージにいれてくる。
- ・ 自分がいる場所、時間帯など災害はいつおきるかわからない状態を日頃から想定しながら、準備しておく。日頃から地域との方とのコミュニケーションをとっておくことが大事である。

発行番号No.230001

令和5年05月11日

訓練等指導報告



- ・ 講師寸評  
日々福祉施設で利用者の動向を見守っている現役の人達なので、少し説明を加えると理解し先が読めるので、今までの講演の中では、上位に位置する理解力でした。  
現在の災害時体制をまず見直し、本日の研修内容を踏まえ、色々な状況を想定し災害時体制を見直してみても、他事業所とも話し合いを行い「ルアップ」を図って欲しい。